

イシガメ カメ目イシガメ科
Mauremys japonica (Temminck & Schlegel, 1835)

鳥取県：情報不足(DD)

環境省：-



選定理由：発見の機会が減少しているが、過去・現在ともに分布状況が不明確で「情報不足」とした。

形態と生態：背甲長14-20cm程度。背甲は黄褐色～茶褐

色で後縁に鋸歯状の切れ込みがある。幼体の甲羅は丸くゼニガメと呼ばれる。河川や池に生息し、川岸や倒木、石の上で日光浴をする。警戒心が強く、危険を察知するとすぐに水中に飛び込む。

分布(県内)：鳥取市(天神川)、大栄町(由良川)、米子市(日野川)。

分布(県外)：本州、四国、九州。日本固有種。

生息環境：山ぎわの湖沼や河川の流水の遅い水域。他県では水のきれいな河川の上流部に多く生息する。

保護上の留意点：県内では、自然状態での確実な生息記録がない。早急の生息情報の集積が望まれる。河岸等のコンクリート化は生息場所の確保や産卵場所への移動を困難にしていると考えられる。自然な水辺の保全と再生が必要。

執筆：山本賢二

スッポン カメ目スッポン科
Pelodiscus sinensis (Wiegmann, 1834)

鳥取県：情報不足(DD)

環境省：情報不足(DD)



撮影：内藤順一

選定理由：生息数を含め野外での生活史に関する知見がきわめて乏しい。国外産養殖個体が逃亡・野生化し、在来個体群との間で交雑が進んでいる可能性が高く、在来個体群の存続が危惧される。

形態と生態：背甲長20-35cm。背甲は扁平で鱗板をもたず、軟らかな皮膚に覆われている。水かきが発達し水中生活に適応している。5-8月頃、陸上の土中に産卵し、2-3カ月でふ化する。肉食性で魚類、甲殻類などを食べ、冬は砂泥底に潜り冬眠する。

分布(県内)：全域の主に中流域。

分布(県外)：本州、四国、九州、琉球列島；台湾、海南島、中国東部、ベトナム北部、朝鮮半島、ロシア南東部な



撮影：内藤順一

ど。

生息環境：河川の中・下流域の砂泥底の緩流部や池や沼。

保護上の留意点：県内の河川、池・沼などの生息状況や、養殖個体の散逸・帰化についての実態調査が必要である。護岸工事、河川敷・中州の掘削、砂泥底の浚渫など生息環境を改変する際には、生息状況を把握した上で十分な保全対策を講じることが望まれる。

文献：

太田 英利・佐藤 寛之(1997) スッポン *Pelodiscus sinensis* (Wiegmann, 1834) . 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (IV) , pp. 322-330 . 日本水産資源保護協会 , 東京 .

執筆：中島 悟

タカチホヘビ トカゲ目ヘビ科
Achalinus spinalis Peters, 1869

鳥取県：情報不足(DD)

環境省：-



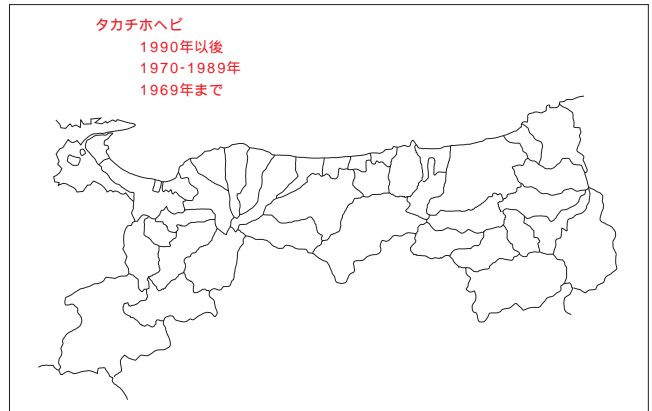
岩美町長谷 2001.7.25 / 撮影：岡田 純

選定理由：県内の記録は2例しかなく希少と思われるが、生息状況は不明であり、今後の調査が必要である。

形態と生態：全長30-60cmの小型のヘビ。鱗に虹色の光沢があり、背中線上に1本の黒い条線が尾の先まである。尾下板は二分せず単一（県内産の他種の尾下板は二分する）。乾燥にとっても弱い。夜行性で発見されにくい。本県では佐治村で採集された3個体の雌が3-6個の大きな卵巣卵を持っていたことから8月頃産卵すると思われる。

分布(県内)：1998年7月24日佐治村加瀬木で3個体、2001年7月25日岩美町長谷で1個体採集されている。これらは標高約260-500mの地点である。

分布(県外)：本州，四国，九州，大隅諸島；中国東南部。



生息環境：森林に生息し、朽ち木や石の下，ガレ場などから発見される。

保護上の留意点：佐治村の記録は林道の側溝に落下していたものである。生息地に側溝を敷設する際は落下の防止および脱出路を設けるなど配慮が必要。また、皆伐による生息地の乾燥にも要注意。

文献：

東常哲也・宇都宮妙子（1999）鳥取県佐治村からのタカチホヘビ *Achalinus spinalis* Peters, 1869 について．爬虫両生類学会報，1999(1): 5-7.

執筆：宇都宮妙子・岡田 純

シロマダラ トカゲ目ヘビ科
Dinodon orientalis (Hilgendorf, 1880)

鳥取県：情報不足(DD)

環境省：-



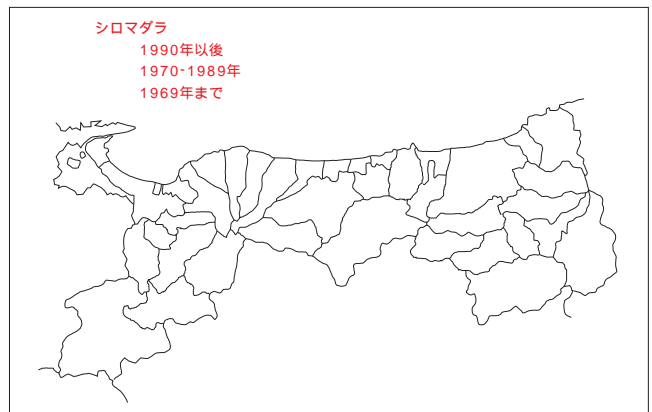
倉吉市打吹山 2001.9.22 / 撮影：國本洗紀

選定理由：夜行性のため人目に触れることが少なく、県内の生息状況は不明な点が多い。宅地開発等による生息地の破壊による減少が心配される。

形態と生態：全長70cm前後。繁殖は年に1回（夏）。平地から山地まで幅広く生息し、石垣や岩石の下，樹皮下などに潜む。トカゲ，カナヘビなどの爬虫類を捕食。6-8月に1-9個の卵を産む。夜行性で物陰に隠れる性質が強く、発見されにくい。

分布(県内)：鳥取市（2カ所），倉吉市（2カ所）で確認。

分布(県外)：北海道，本州，四国，九州，伊豆大島等（日本固有種）。



生息環境：平地から山地の崖地の岩の割れ目など。

保護上の留意点：餌がトカゲ類に限定されるため、それが生息しやすい環境の保全が重要。

文献：

大野正男（1989）シロマダラに関する知見総説. 日本の生物，3(8): 52-60.

大阪市立自然史博物館（1989）大阪市立自然史博物館 第16回特別展「日本のヘビとカエル 大集合」解説書 日本の両生類と爬虫類，大阪市立自然史博物館，87 pp.

鳥取県立博物館（1997）救おう！日本の野生生物 鳥取県の貴重な生物，鳥取県立博物館，47 pp.

執筆：田村昭夫